

てん によ ばし
天女橋



「親蓮橋」とも呼ばれるんだね。池に蓮が生えてたのかな。



沖縄戦の砲撃で弁財天堂は島ごとなくなっちゃった。天女橋は欄干が落ちたけど橋の本体は残ったんだ。奇跡的だね。



朝鮮との交流の結果、架けられた橋



■天女橋(手前)と弁財天堂(奥)

天女橋は円鑑池の北岸から弁財天堂の建つ中之島へ架けられた橋です。1467(成化3)年の尚徳王時代に朝鮮から贈られた方冊藏経を納めるため、1502(弘治15)年の尚真王時代に堂宇とともに創建されました。

1609(慶長14)年、薩摩侵攻で破壊された堂宇を、1621(天啓1)年に再建した際、円覚寺にあった弁財天像を移したため、堂宇を弁財天堂、橋を天女橋と呼ぶようになりました。橋台は石灰岩の切石を布積みしています。中央が高く反るアーチ型の石橋は、中国南部地方に多い形式で、ラクダの背中に似た特徴から駝背橋といわれています。戦前の沖縄には多くのアーチ橋がありましたが、そのほとんどが戦災で失われました。天女橋は保存状態がよく、デザイン、構造ともに特色があります。





欄干



アーチ型の石橋



26°13'06.6"N 127°43'07.0"E

国指定重要文化財(昭47.5.15)



園比屋武御嶽石門



世界遺産にも登録されているんだね。

1519年に尚真王が八重山竹富島出身の西塘という人に命じて作らせたんだ。1957年に復元されたけど、この時、古い石材は少ししか使っていない。その後、亀裂が発見されたため、1986年に解体修理されたんだ。そのときは、戦前に使われていたオリジナルの石材をできるだけ再利用したんだよ。



国王が道中の無事を祈った御嶽



園比屋武御嶽石門

園比屋武御嶽石門は琉球国時代の国王の拝所で、守礼門の後方左側の道端にある石門とハンタン山一帯が指定されています。石門は御嶽の拝殿にあたり、国王が城外に出かける時、往路帰路の安泰を祈願しました。また、王府の行事で東方の拝所を巡礼する「東御廻り」や間得大君の就任式「御新下り」の時の第一番目の拝所でもありました。

扉以外は全て石造の平唐破風門で、屋根石

は板葺きの模様を刻んで軒回りを垂木形に彫り、両妻に懸魚の彫刻を取り付けるなど、木造建築の表現を取り入れています。棟石は両面に唐草文様を彫り、中央に火焰宝珠を載せています。棟石と棟飾り、懸魚は細粒砂岩で、その他は全て琉球石灰岩です。沖縄戦でひどく破損しましたが、琉球政府時代の1957(昭和32)年に復元され、1981(昭和56)～1986(昭和61)年に全面的な解体修理が行われました。



懸魚(右)



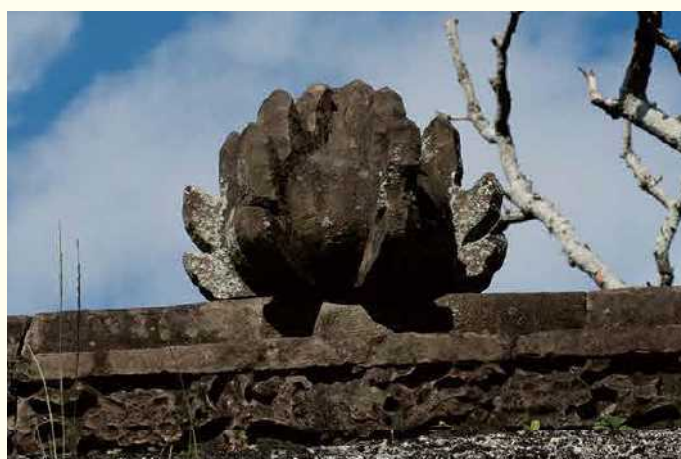
垂木型の軒



肩破風の屋根



懸魚(左)



火焰宝珠



26°13'05.2"N 127°43'01.9"E

きゅう そう げん じ だい いち もん
旧崇元寺第一門
 およ せき しょう
及び石牆



昔は大きなお寺
 だったんだろうね。



亡くなった先の王様の霊位を
 祀る儀式は「先工論祭」という
 んだ。アーチ門と周囲の石垣
 が重要文化財に指定されてい
 るよ。昭和初期には、この前
 を電車が走っていたんだよ。



**伊東忠太博士が絶賛した
 沖縄を代表する石造建造物**



旧崇元寺第一門

崇元寺第一門はアーチ型三連の石門で、南側の道路に面する石垣の中央部に設けられています。切石の布積みで、左右にアーチ式の掖門を備えています。

旧崇元寺は臨濟宗の寺で靈徳山と称し、舜天王以下歴代諸王の霊位を祀る琉球国の国廟でした。尚清王の即位元年にあたる1527(嘉靖6)年に建立されたと推測されています。冊封使が琉球に来た時、首里城での新王の冊封に先立ち、この寺で先王の霊位を祀る儀式

が行われたといわれています。

本堂や石門は戦前の旧国宝保存法で国宝に指定されていましたが本堂は沖縄戦で焼失し、石門も破損しました。

戦後の混乱期には、残っていた石垣の石が運び去られたりしたので、これを憂いた人々により「崇元寺石門復興期成会」が結成され、寄付金を集めて1951(昭和26)～1952(昭和27)年に修復工事が行われました。戦後の沖縄における文化財復元の第一号です。





旧崇元寺第一門(正面より)



左掖門(正面より)



拡大



右掖門と石畳(内部)



旧崇元寺第一門(内部より)



26°13'13.2"N 127°41'25.8"E